

基礎期通信「ひたまり」

市立札幌開成中等教育学校

基礎期通信 NO.10

2021.11.12.(Fri.)

学校公開日の来校ありがとうございました！

学校公開日について

10月29日(金)の学校公開日では、多くの保護者の皆様に御来校いただき、ありがとうございました。都合がつかず来校できなかった保護者の皆様もいますので、簡単ではありますが、内容を共有いたします。

○基礎期は、自立をテーマにしており、以下にあることを大切にしています。

親離れ、子離れ

自分でできることを増やしていきましょう。まずは、自分で起床することから。現在、12～14歳ですが、あっという間に自立しなければいけない時期がやってきます。一人で暮らさなければいけない状況になってから、できることを増やすのではなく、今から少しずつチャレンジさせましょう。

ルールを守る

どのような社会にもルールがあります。また、みんなで効果的に学ぶためには、相手を思いやりたりする意識や行動が必要です。それらの存在意義を考える機会としています。

失敗しても大丈夫な環境を提供する

試行錯誤をはじめとして、チャレンジすることを推奨する取組がたくさんあります。『調査→計画→行動→振り返』という探究サイクルを通じて、自分が求めている理想的な結果が出ると良いのですが、失敗することもたくさんあります。人生においても失敗から学ぶことはたくさんあるので、『失敗から学ぶ』ことも恥ずかしがらない学びを進めています。

自立させるためには、(小学生時代に行っていたかもしれない)手取り、足取りの管理を止めなくていけません。保護者の皆様には、失敗させる勇気をもっていただきたいと思います。ただし、心配なことがあれば、御家庭と学校で連絡をとりあいながら、関わり方を相談していきたいと思います。これは手取り、足取りとは違って、必要なサポートです。

○5、6年生で選択するIPとDPについて

本校では、MYPプログラムを実施している4年次を終了した後に、2つのプログラム(IPとDP)から1つを選択することになります。IPは本校独自のプログラム、DPは国際バカロレアのプログラムであり、以下のコンセプトで実施しています。

IP:日本の学習指導要領の内容とIBを融合した

課題探究的な学習を通してグローバルに活躍する人を目指す

DP:DP資格取得を目指した学習を通して将来、グローバルに活躍する人を目指す

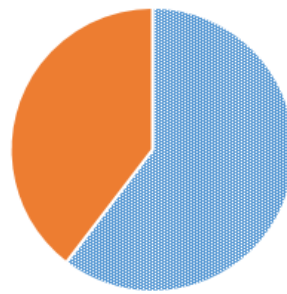
IPは、たくさんの科目から授業を選択できることが魅力になります。DPは、選択するパターンは少なくなりますが、MYPに続き国際バカロレアのプログラムで学びたい人にとって魅力的なプログラムです。ただし、DPを考えている人は、『英語で科目を学ぶ』ことを考える必要があります。そうした授業に対応するための英語力を高めておかなければなりません。

SNS の使い方に関するご協力をお願い

学校公開日にお伝えした内容になりますが、最近 SNS でのトラブルが増加しています。SNS 使用については学校としてルールを決めることができませんので、どうしても規範意識の呼びかけや事後指導が中心となります。講演会や学級での呼びかけをしていますが、限界があります。11月5日(金)に SNS のアンケートを実施し、各家庭で SNS の使い方について『ルールがある』60.4%『ルールがない』39.6%という結果が出ました。『きまり』や『事前指導』は、御家庭にお願いする部分が大きいため、御協力いただきたいと思います。

あなたの家では、SNSの使い方についてルールはありますか？

293 件の回答



※ある
■ない

また、『SNS で嫌な思いをしたことがある内容』について聞いたところ、学校で把握できていない事案も一定数あったことがわかっています。SNS は便利なツールです。使い方を知り、上手に使っていただけるように、御家庭と学校で『加害者にならない』『被害者を早く発見し、解決する』環境の整備に努めていきたいと思しますので、御協力をよろしく願いいたします。

学校公開日にあった質問について

①スキー授業に向けて、どのような準備をするといいですか？

本校では、ゲレンデスキーは実施しておりません。今年度は、冬や雪に親しむ行事として、1, 2年生共に歩くスキーを計画しています。詳細は保健体育科の授業で連絡しますが、防寒に必要な上下の服装、手袋、毛糸の帽子があれば大丈夫です。スキー板の準備は必要ありません。

来年度以降は、現 1 年生は、2年生でスケート、3年生でカーリング。現2年生も、3年生ではカーリングを予定しています。それらの活動もレンタル用品を活用して実施予定ですので、防寒できる服装があれば大丈夫です。

②英語の学習はどのようにするといいですか？

本校では、生徒の言語習得能力に応じて、フェイズ(段階)というものを設定しています。個々でフェイズが違うため、学校の授業では、取り扱う内容は同じでありながらも、課題で提示される条件を変えるなどして対応しています。英語の習得状況によってアドバイスは異なるため、各自で英語の教科担任に相談していただきたいと思います。

最近の総合的な学習の時間の様子



【1年生：企業が考える札幌の課題の準備】



【2年生：会社活動の後期スタート】